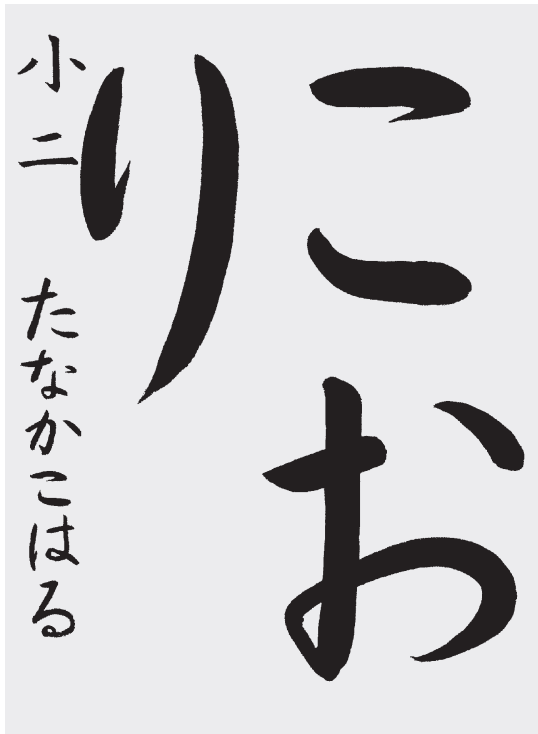


〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

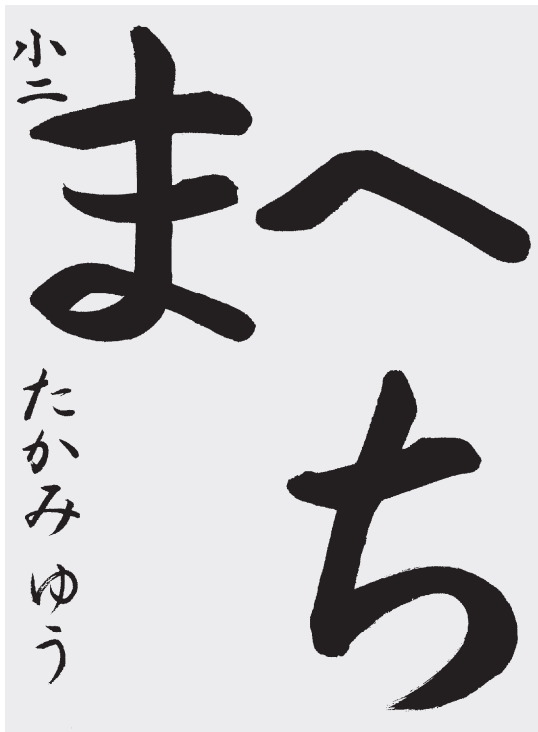


下谷洋子先生

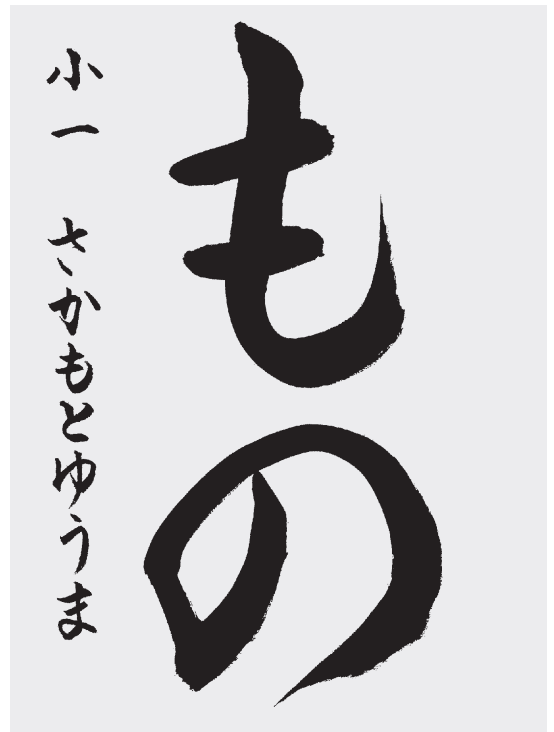
幼・小学1年参考手本



加瀬澄春先生



川村美泉先生



山口仙草先生

〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



半田藤扇先生

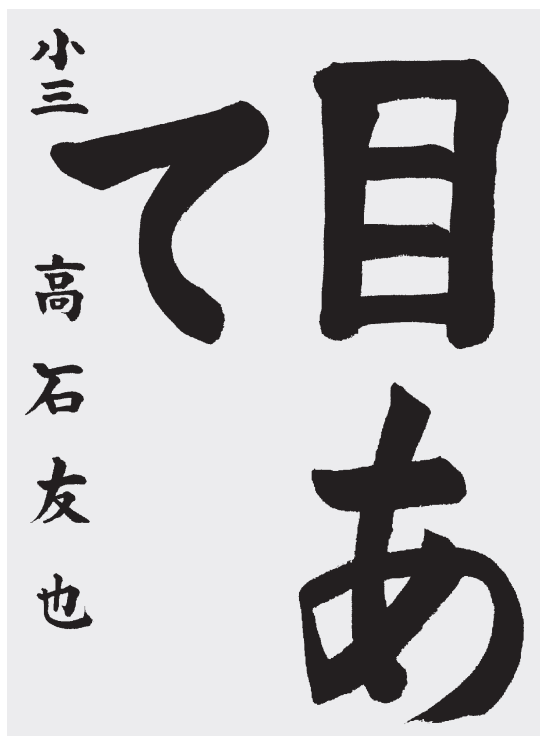


白石和楓先生

小学3年参考手本



橋本玉扇先生



三浦鄭街先生

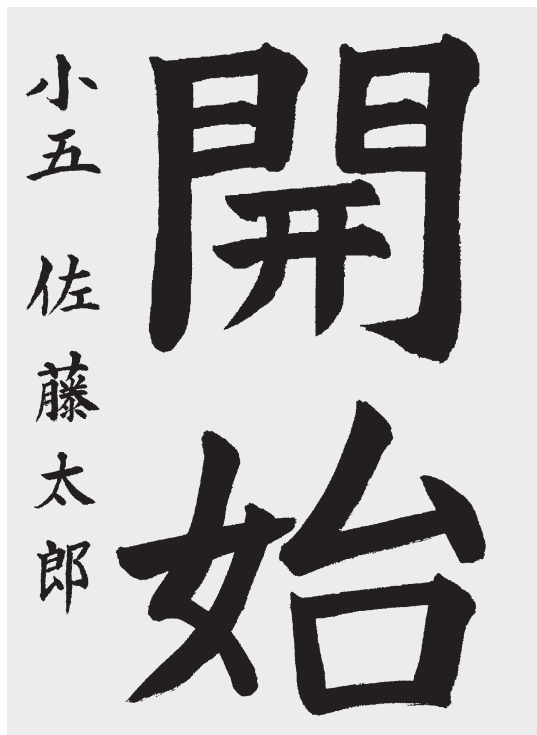
〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



辻元大雲先生

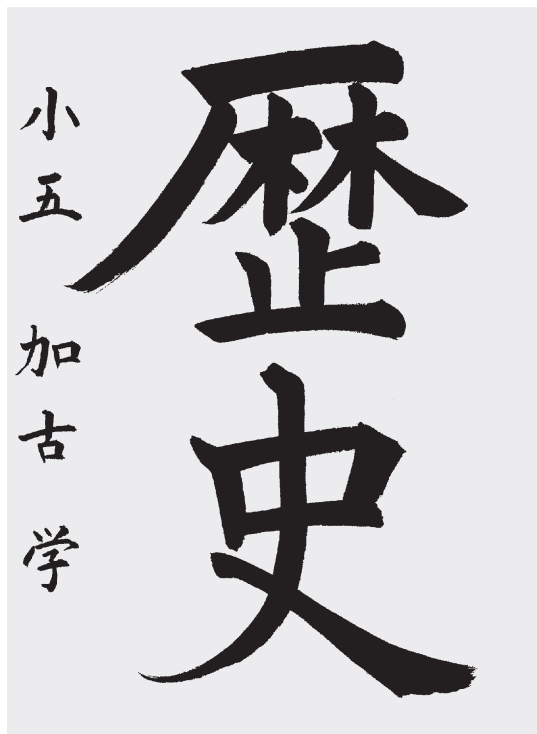
小学5年参考手本



板垣洞仙先生



広瀬舟雲先生



種谷萬城先生

〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

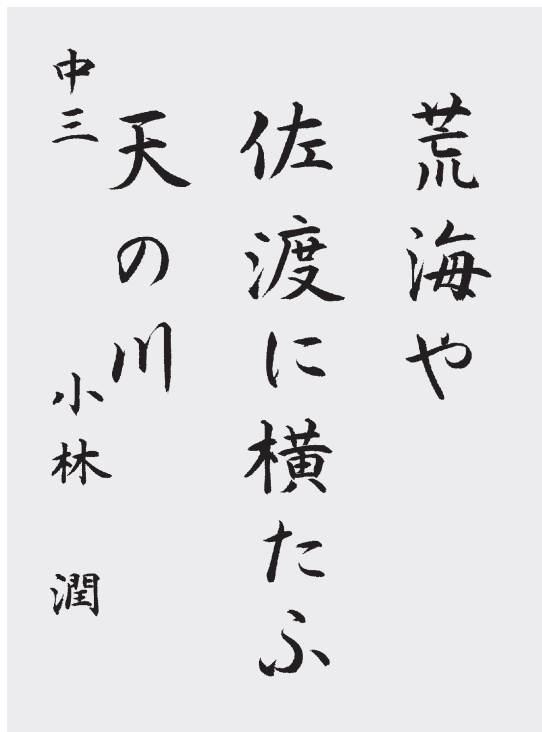
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



尾形 澄 神 先生



最 首 翠 風 先生



小 竹 石 雲 先生



東 福 青 篁 先生

毛筆参考手本解説(2)

6年

記

筆順
言言言言言言
等間隔
フ接し方
許容
言方

念

筆順
ノハ今今念念
許容
心は扁平に

の

筆順
乃乃の
許容
はなす

マ

筆順
万(末)

ラ

筆順
良良ラ

ソ

筆順
曾ソ

ン

筆順
ン
撥音符号から

中学

国

筆順
少し出す
国
松尾芭蕉

際

筆順
又又止め
示
天の川：秋

交

筆順
又又止め
示
荒れ狂う日本海の荒波の向こうには佐渡ヶ島がある。空を見上げると、白く美しい天の川が佐渡の方までのびて横たわっていて、とても雄大だ。

流

筆順
又又止め
示
行書のポイント
点画がやや曲線的になる。次につながる気持ちで。

やさしい行書

自在

次代を担う

次代を担う

次代を担う

ひらがなの字源 (345)

源字	字形
の	乃乃のの
ふ	不ふふふ
た	太たた
に	仁に々に
や	也やや

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

- 行の整え方(配列)
 - 行の中心に文字の中心をそろえる。
 - 画数の少ない漢字や仮名は、やや小さめに書く。
 - 字間・行間を、それぞれそろえる。
 - 上下・左右の余白を適度に取る。
 - 1、行頭をそろえる。
 - 2、行頭の高さを工夫してみる。
- (よりよい表現ができる)

* 源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
* 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

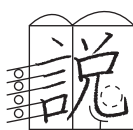
〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名			
段・級			
学年	六		
名前	渡辺一樹		
	れば意味がない。	も人の心に届かなけ	どんな立派な演説で

支部名			
段・級			
学年	五		
名前	大森亜季		
	らうようお願いします。	をすぐに移動しても	案内板の前の自転車の



「口」をへん平に
曲がり

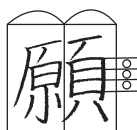


〈筆順〉
汨汨 汨汨 演



入る方向に注意
接し方に注意

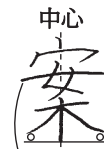
『演説』
「へん」と「つくり」の組み立て方に気を
つけて書きましょう。



四つの左はらいの方向に注意



最後の画の長さや方向が大切
つくりの「力」を下に。



「女」をへん平に
長く

『自転車』
画数の多い漢字を整えて書きましょう。

〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

※書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	ことを世界に発信している。 合い、助け合う共生社会を目指す パラリンピックは、互いに認め
段・級	
学年	
名前	
鳥井愛奈	

支部名	ことを世界に発信している。 合い、助け合う共生社会を目指す パラリンピックは、互いに認め
段・級	
学年	
名前	
鳥井愛奈	

助力
 信
 意

・行書のワンポイントアドバイス
 行書は楷書に比べて、筆路（点画のつながり）が明確です。
 これによって、和らぎや流れが生まれます。

『パラリンピック』
 漢字、ひらがな、カタカナをつりあいよく書きましょう。漢字はすこし大きく。
 発（はつがしら）の部
 筆順
 タ ㄨ ㄨ ㄨ ㄨ 発
 カタカナの字源
 ハ：ハ ハラ：良 良ラ
 リ：利 リン：リン
 ヒ：比 ヒ ツ：川 ツ
 ク：ク ク

これからの作品締切日と課題

令和2年9月号～3年2月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
夕映えの富士	名月	正倉院	出席	林道	竹やぶ	ひろば	る	9月7日	9月
つきかもし	清少納言	集中力	飛ぶ	外国	秋	ねがい	つき	10月7日	10月
広がる世界	紅葉	責任感	願い	町村	見方	もみじ	え	11月9日	11月
<small>柿くえば鐘かなるなり 法隆寺</small>	源氏物語	達人の技	夕焼け	時計	虫かご	月	よむ	12月6日	12月
古都奈良	答案	筆の里	風景	成功	月光	えがお	は	1月7日	1月
<small>この道や行く人なしに秋の暮れ</small>	自然科学	立派な人	連合	家族	大切	ダム	すみ	2月7日	2月
見聞を広める	天守閣	飼育係	星ふる夜	仲間	広がり	つばさ	き	9月7日	9月
ころもうつなり	飛行機雲	喜びの声	成り立ち	わさび	安全	かもめ	ふゆ	10月7日	10月
破竹の勢い	剛健	私の決意	百人一首	生きる力	うし年	おせち	ね	11月9日	11月
ふじのたかねに	晴耕雨読	豊かな夢	理想	初春	自由	牛	もち	12月6日	12月
美しい梅林	観測	常識	栄光	発表	よろこび	ゆびわ	せ	1月7日	1月
ゆきはふりつつ	横断歩道	世界旅行	文庫	点画	図工	ポスト	やま	2月7日	2月

9月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

ぜ	あ
が	た
ふ	た
い	か
て	い
きた	か

小2

き	雲
た	の上
ら	を
楽	さん
しい	ぼ
ね	で

小3

注	友
意	だ
し	ち
て	の
聞	意
こ	見
う	を
つ	、
な	

小4

変	大
わる	通
ると	り
、	の
車	信
が	号
い	が
っ	青
せ	に

小5

和	こ
紙	の
作	町
り	の
だ	伝
と	統
社	工
会	芸
科	は
の	

小6

土	室
器	は
の	、
あ	常
る	設
考	展
古	示
資	室
料	に
	入

中学生

環	境
問	題
に	つ
い	て
友	達
と	意
見	交
換	し
、	「
私	た
ち	は
何	を
す	べ
き	か
」	を
考	え
え	て
い	く
こ	と
が	大
切	切

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第41回 Zoomによるオンライン授業

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言も、ようやく全面解除。都内の小・中学校では、六月一日から時差登校などで再開しました。しかし完全に終息したわけではありません。抑え込みに成功したと思われた世界各地で、再び感染者が増えている所もあるとの情報もあり、ワクチンや有効な治療薬が存在しない現状では、日常生活を感染拡大以前の様に戻した途端、再び感染が広がる恐れがあります。日本人の学生だけでなく、諸外国からの留学生も在籍する大学での対面授業再開となると、地球規模の広域から学生たちが集まってくるのでいろいろな面において一層の配慮が必要となります。

ところでオンライン授業実施には、学生が「インターネットができるパソコンまたはそれに代わるスマホ」を所持していることが前提となります。四月の時点で学生のパソコンまたはスマホの所持率を調べたところ今や九割を超えていることが分かりました。そこでどちらも持っている学生に対しては急遽パソコンやルーターを大学から貸与することに。また教職員の在宅でのオンライン環境の整備指令によって短期間で一気にオンライン化が進み、いまや会議や、本学のほとんどの授業がオンラインに移行。あつという間にできなければ非常に困る体制となり、急激な世の変化に戸惑いながらも付いて行けてよかったですと思っています。本学では、オンライン授業が開始され定着した今、宣言が解除となりましたが、更なる感染リスクを考え、①7月末まで引き続きオンライン授業継続を決定。②教職員の基本的な活動は在宅で行い、原則事務室は閉室し、職員の在宅勤務（メール対応）を継続。③課外活動に関しては、学内・学外を問わず活動禁止を継続とし、第二波、第三波の感染拡大に警戒を続けながら、徐々に日常を取り戻せるよう、正しく恐れながら新型コロナウイルスと共存・共生していくという判断になりました。

Zoom（ズーム）の使用法を急遽学習し、これを用いて手探りで始めた私のオンライン授業（途中で増えて週九コマ実施）も、はや二か月が過ぎ、慣れました。Zoomは、テレビのように画像と音声を送信できるし、ラジオのように音声だけを発信することもできます。しかし、最大の特徴は、テレビやラジオのように一方からの発信ではなく、教員と全学生の顔の表情を画面で見たりしながらリアルタイムで講義・実技または、直接、質問や意見聴取などが繰り広げられる、つまり双方向から送受信できる点が大きく異なり優れていると感じました。

書写書道の実技授業でZoomを使用する場合は、直接、朱墨等で作品の添削はできませんが、発想を変えて間接的な添削はできることが判りました。学生が書いたものをパソコン画面に映してもらえば、教員側は、その画面を見ながら自身の声で講評ができますし、学生から制作意図を聞くなど会話もできます。誤字等があれば、今度は、教員が自分で用意した紙に、学生が誤った箇所を記し指摘したり、正しく毛筆等で書いたものなどをカメラにかざし画面上に映し、どうしたらよいかなどアドバイスすることもできます。私が書いて示した物を学生は後でもう一度じっくり見たいと思ったのか、「先生、スマホで撮影していいですか？」という学生の声はパソコンのスピーカーから聞こえたので、「いいよ」と返事をすると、早速、パソコン画面をスマホのカメラ機能で撮影保存していました。学生からスマホ併用の便利な使用法を学びました。授業内容は選択している学生全員に同時に画面と音声で共有できますので、この方法は、教室で黒板に作品を貼って多人数の前で批評会を行っているのと原理は同じなのです。書道分野における様々な使用法や可能性を探っていくように思っています。（つづく）

今月のホープ



中三 桃李百恵 (矢巾支部)

落ち着いた筆運びで安定した表現、点画のバランスもよく、ていねいな気持ちが伝わってきます。名前も立派です。



小五 水内結菜 (夏見会支部)

大きく堂々と力強く躍動感があります。文字のバランスも良く筆使いがしっかりして、充実の作となりました。

支部名	苑書	京	の	っ
段・級	02020	2	夢	今
学年	六	0	の	ニ
氏名	三浦彩佳	0	力	ッ
			が	ポ
			必要	ン
			だ	に
			だ	は
			。東	こ

小六 三浦彩佳 (苑書支部)

丁寧な書き方がとても良く、一字の中にゆとりがあり、名前まで爽やかさが一貫した見事な作品、今後に楽しみ。

支部名		に	こ	
段・級		う	ん	わ
学年	四	つ	だ	か
氏名	滝口日菜	っ	日	葉
		て	光	の
		い	が	間
		ま	。庭	から
		す	の	差
		。	池	し

小四 滝口日菜 (もくせい支部)

名前まで力強く、しっかりとしたペン線で書かれた安定感のある作品です。漢字、かな共に大変美しいです。

第74回書道芸術院展併催

第72回 全国学生書道展作品募集規定（抜粋）

会 期 令和3年2月5日（金）～2月11日（木・祝）9：30～17：30

（入場は30分前まで）

ただし、2月11日は14：00まで（入場は30分前まで）

会 場 東京都美術館（東京都台東区上野公園）

参加資格 第1部 幼児・小学生

第2部 中学生

第3部 高校生

第4部 大学生・専門学校生

（前回までの大賞受賞者は、同一部門内（例 第1部小学生部の内）においては招待出品とします。出品料は無料）

部 門 ① 半紙部門（たて34cm よこ25cm）

② 半切1/2部門（70cm×35cm）

（どちらの部門にも出品できます。）

	半紙部門	半切1/2部門
出品点数	<ul style="list-style-type: none"> ・一人何点でも出品できます。 ・団体、個人とも10点以上で参加できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人3点まで出品できます。 ・団体、個人とも1点以上で参加できます。
	※半紙と半切1/2のどちらかが規定数に達していれば出品できます。	
出品料	・1点 500円	・1点 1000円（一人3点まで）
募集作品	<ol style="list-style-type: none"> 1 書写、書道作品、字句は自由 2 毛筆、硬筆など表現自由。 3 幼小中学生は<u>学年氏名を本人が書く。</u> 4 高校、大学生は落款の体裁を整える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>幼児・小・中学生は別紙規定課題または自由課題</u> 自由課題…2文字、学年で使用するもの。 2 <u>高校、大学生は課題自由（創作または臨書）</u> 3 幼小中学生は<u>学年氏名を本人が書く。</u> 4 高校、大学生は落款の体裁を整える。
作品大きさ	<ul style="list-style-type: none"> ・普通の半紙版以内（たて長使用） （たて34cm よこ25cm以内） （この大きさ以内の小さいものは半紙に糊付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小画箋半切1/2以内（70cm×35cm） ・<u>幼児・小・中学生は縦長使用に限る</u> ・<u>高校・大学生は縦横自由（創作臨書自由）</u> （この大きさ以内のものは半切1/2に糊付）
出品要領	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>同一人の作品は左上をゼムクリップ止め</u> 2 作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入 ① 校名 ② 学年 ③ 名前 <u>（①～③は内申上位1割について記入）</u> ④ 団体番号 ⑤ 作品番号 <p>※多数出品の場合も1枚ごとに全て記入 ※団体番号は出品予約申し込みにより通知。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>同一人の作品は左上をゼムクリップ止め</u> 2 作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入 ① 校名 ② 学年 ③ 名前 <u>（①～③は内申上位1割について記入）</u> ④ 団体番号 ⑤ 作品番号 <p>※3点出品の場合も1枚ごとに記入 ※団体番号は出品予約申し込みにより通知。</p>

作品締切・搬入 日 時 令和2年（2020年）10月26日（月）

場 所 〒101-0031

東京都千代田区東神田1-16-7 東神田プラザビル3階
公益財団法人 書道芸術院内 全国学生書道展事務局

「全国学生書道展指導者作品展示」

児童、生徒と同じ半紙サイズで、現代書の多様な表現、書の楽しさ幅広さを皆様にご覧いただいております。書道芸術院関係役員、学生展指導者、書塾指導者の皆様の積極的なご出品をお願いします。

• 出品資格

- 本展出品指導者
- 「書道芸術学生版」支部指導者
- 書道芸術院審査会員

• 会 期

- 令和3年2月5日(金)～2月11日(木・祝)

• 会 場

- 第72回全国学生書道展会場
(東京都美術館)

• 作品寸法

- 半紙額内自由
(額内寸 50 × 38 cm 以内)
(タテ・ヨコ自由)

※本紙寸法はすこし小さくして下さい。

- マクリのまま出品

(本院で一括表装依頼)

• 出 品 料

- 15,000 円

(1人1点、表装料・返送料含む)

• 出品手続き

- 出品要項、出品票等を出品資格者へ送付する。

- 必要な方はご請求ください。

• 出品締切

- 令和2年10月26日(月)

(学生展作品と同じ)

- 詳しくは別紙要項をご覧ください。

◇ お 知 ら せ ◇

事務所の夏季休暇は

8月6日(木)～11日(火)とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

公益財団法人 書道芸術院

令和
年 月 日

◇ 登録用紙 ◇

団体番号		支部名		先生名	
------	--	-----	--	-----	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月 **15** 日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に手続きをお願いいたします。

※現在の学年を明記してください。



氏 名	ふりがな	学 年			備 考
		幼	小	中	

◇ 部数変更届 ◇

現 在		増 減	合 計
冊	月号から		冊
事務局使用欄			

※部数の変更は、毎月15日までに、事務局へご連絡下さい。

※この用紙をコピーして繰り返しお使い下さい。

お知らせ

コロナウイルスの影響により、昇段級試験の結果・合格証・特待生の楯・領収書の発送が遅れます。
ご理解の程、よろしく願いいたします。

幼・1年

る
いとうめい

つき
小一 さとうたらう

2年

ひろ
小二 おたかすや

ねが
小二 あべしの

3年

竹やぶ
小三 田中せえ

秋
小三 杉田奈津

4年

林道
小四 仙石洋子

外国
小四 岡田和成

5年

出席
小五 田中太一

飛ぶ
小五 一条愛

6年

正倉院
小六 山本美幸

集中力
小六 古賀小春

中学

名月
中一 安田祐也

清言納
中一 佐川智大

夕映えの富士
中三 田中文代

いづつ
中三 由木たまき

編集余録

○新型コロナウイルスの影響により一か月遅れて春の昇段級試験の審査が行われました。お稽古の時間・場所の確保が難しい中、出品して頂きましてありがとうございます。審査員の方から出品出来なかった方は秋の昇段級試験にぜひ出品してください。

○梅雨に入り蒸し暑い日が多くなってきました。真夏日が各地で記録されています。ウイルス感染予防のためマスクをしていると熱中症になるリスクが高まります。こまめに水分補給をするようにしてください。

○第72回全国学生書道展作品募集規定(抜粋)と指導者作品展示のご案内を掲載いたしました。半紙と半切二分の一のサイズがあります。両方に出品することも可能です。多くの方の参加をお待ちしております。(業扇)